

## 平 安

山のホームは森閑として  
窓いっぱいの空を見て暮らす

こんな夢のような老後  
昔は生活に追われ時間に追われ  
せめて一日飽きるまで眠ってみたいと思った

子離れの儀式もすんだ  
あとは天国の階段をのぼるだけ

神様この老いたるはしためを  
あと一年用ひてくださいませ

八島 あさ

この詩は、北海道在住であったプロテスタント教会員の八島あさ 姉が詩のサークルに参加されていた時に作られたものです。

平成12年に他界。

教会の三上牧師の許可を頂いて掲載しております。  
転載不可。

<http://kanetomo.2lala.net> 葬儀の曲友(かねとも) 札幌